

2025年11月25日(火)

2397号 (毎月25日発行) (大阪版)

1950年12月16日第三種郵便物認可
1部160円 月額470円(郵送料込月額120円)

平和新聞

発行 日本平和委員会
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

日本平和大会 in 愛知開催

10月25日26日 大阪から29人参加

10月25日26日、日本平和大会 in 愛知が開催された。24日にはオプショナル企画「愛知県の軍需産業を巡るフィールドワーク」が開催され、大阪から29人が参加しました。

「どうれつしやがやつてきた」の合唱が始まった開会集会。地元愛知から愛知県に集積する軍需産業の実態と、その背景にある政府の殺傷兵器輸出促進の動きについて報告がありました。日本を「死の商人国家」にしてはいけない。愛知県の軍需産業の実態をしっかりと学ぼうと思いま

■平和のわが町運動は 足元から

日本平和大会に参加して「私もこれをやりたい」と思ったのは、10月25日に参加した分科会「愛知から見える大軍拡と戦争動員体制」の中の検数労連の報告でした。検数労連の光部泰宏さんが「平和を希求する港湾労働者の思い」を港湾労働者は戦争の協力者にも犠牲者にもならないの報告は、戦争こそ港湾労働者のいのちを犠牲にする最大の脅威。平和こそ港湾運送事業・港湾労働がある。



2022年の安保三文書後、港湾を戦争に使わせないという労使の合意形成目指して取り組んでいる報告でした。情勢学習しながら、要求書を経営者に提出し、議事確認として合意文書を締結。この積み重ねで2025年港湾春闘で特定利用港湾について労使協定締結にするまでになっています。(港湾労働者の安全、港湾労働への影響の視点から特定利用法について労使での検討・学習会を早急に実施する)また、宣伝も欠かさず続けてきており2023年3月から「東京・新橋駅前早朝行動を開始。わくわくするような報告でした。要求の明確化、学習と交渉、そして行動がはつきりして、憲法28条の労働

三権(団結権、団体交渉権、団体行動権)の実践報告を聞いているようでした。今取り組んでいる平和のわが町運動が私自身の確信になりました。運動につまづくときの教科書は憲法にあると。平和大会に参加できよかったです。(吉田 一江)



沖縄連帯行動

11月14日14名で実施

定例の沖縄連帯の宣伝を11月14日、上本町6丁目交差点で、正午から14人の参加で行いました。うたごえ協議会の立川さん、平和遺族会の大島さん、天王寺平和委員会の大井さん、大阪平和委員会の栗井さんが、「高市首相の台湾有事を口実にした沖縄・南西諸島の軍事要塞化は許さない」「完成の見込みのない辺野古新基地建設は直ちに中止」「基地強化、ミサイル配備ではなく、対話での平和を」と訴えました。うたごえに足をとめる方も多く、25筆の署名の協力がありました。



第13回フードバンクありがとう 11月16日生野区平和委員会



11月16日、勝山通りの「天理教北大教会」で13回目のフードバンクを実施しました。ボランティアアスタツが9時に集合し①基本セット②食品コーナー③日用品衣類雑貨コーナーに分かれ準備しました。受付とアンケート・署名コーナーも準備。14時には180名の方が列をなし、開始の時間を待っていました。朝早く8時40分から、入口に並ばれる方もいて、場内準備と、入り口の来場者への説明など担当者が配備されました。今回一番、気がかりだったのがお米です。当初お米ナシで実施予定でしたが提供が現れ、みなさんに1kgづつですがお渡しできました。急に寒くなったので衣類コーナーにもぎわいました。生活の苦しさが身にしみる第13回でした。天理教の境内を無料でお借りできありがたいです。



止めよう大軍拡 憲法いかし平和な未来 11.3おおさか総がかり集会 2500人が参加

11月3日中之島公園で

「輝け憲法！平和といのちと人権を おおさか総がかり集会が開催され、会場いっぱい2500人が参加しました。

メインゲストの京都大学の高山佳奈子教授は「正しい情報を共有し、世界の仲間と連帯して積極的平和主義の取り組みをすすめよう」とスピーチ。情報のソースが大事とたこ焼きの被り物とソースを持参してのパフォーマンスに大きな拍手が起りました。高市政権が戦争する国づくりへアクセルを踏む中、大軍拡は知らない、平和を守り、憲法をいかそうの声を大きく広げていくことを確認しました。集会後は扇町公園までパレード。市民にアピールをしました。



第24回 アメリカ領事館前行動 アメリカはイスラエルの支援をやめろ！パレスチナに平和を！ 10月29日 15人参加



24回目となるアメリカ領事館前で抗議行動を10月29日、大阪労連、大阪革新懇、大阪原水協、大阪平和委員会4団体で行いました。参加者は15人でした。「アメリカの仲介で10月10日にイスラエルとハマスの停戦が合意されたが、停戦合意後もイスラエルはガザへの攻撃を続けています。アメリカはイスラエルに対して停戦を守れと強く指導するべき」、「アメリカがすべきは、パレスチナの国家承認とイスラエルの攻撃をやめさせること」、「必要なのは人道支援」と抗議のコールを行いました。

大阪公立大学4度目の軍事研究 3キャンパス前で宣伝行動

10月27日 中百舌鳥
10月28日 杉本町
10月29日 森ノ宮

10月27日から29日の3日間、「軍学共同いらない！市民と科学者の会・大阪」のメンバーで大阪公立大学の中百舌鳥、杉本町、9月に開学した森ノ宮の3キャンパス前で宣伝をしました。

「大学の軍事研究はいらない」の横断幕を掲げ、登校する学生、教職員に「公立大学が4度目の軍事研究を始めました。戦争につながる軍事研究をやめさせましょう」と訴えながら「負けるな！大阪公立大学」のビラを配布しました。3日間で約300枚のビラを配布しました。



6.9行動

11月6日 上六交差点
20人が参加

10月6日、上本町六丁目交差点で6.9行動を行いました。参加者は14人で24筆の署名への協力がありました。「人類史上初めての原子爆弾が広島・長崎に投下され今年で80年。今も約10万人の被爆者は苦しみ続けている」「トランプ大統領の核実験再開表明は許せない」「生きていくうちに核兵器廃絶を」の願いにこたえるため、日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を求める署名への協力を訴えました。通りがかった外国人をはじめ、多くの方が足を止めて署名の応じてくれました。



【12月の行事案内】

- 3日(水)第6回常任理事会 18:00～
- 6日(土)生野平和委員会総会
- 7日(日)八尾平和委員会総会
- 9日(火)赤紙くばり宣伝 11:30～上本町六丁目交差点
6.9行動 12:00～ 上本町六丁目交差点
府9の日宣伝 17:30～ 京橋駅
- 12日(金)西淀川平和委員会総会
- 15日(月)沖縄連帯行動 12:00～上本町六丁目交差点
- 20日(土)東住吉平和委員会総会
- 25日(木)アメリカ領事館前行動 12:00～



名護市長選挙に支援を

来年1月25日投票で、名護市長選挙が行われます。オール沖縄から翁長クミコさんが予定候補として奮闘されています。翁長クミコさんの勝利は、辺野古新基地建設をストップさせる大きな力になります。この選挙は高市政権へ、平和を願う沖縄県民の声を突きつけ、台湾有事を口実に進められる沖縄の戦場化を止める流れを創り出す大きな一歩となりえる意義のある選挙です。短期間のたたかいですが、翁長クミコさんの勝利のため、現地支援、支援カンパをよろしくお願いします。